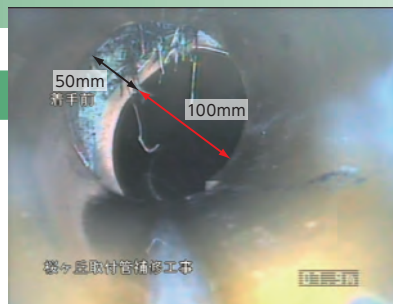


部分補修（熱硬化）

1 部分補修（熱硬化）… 取付管の段差切削及びちび弾丸による補修

状況 $\phi 150$ HPの取付管において、大きな段差が確認された。
写真からのスケールアップでは、有効径が100mmであった。

対策 社内で現状を再現して、切削及び補修のテストを行ない、
現場施工を試みた。



段差50mmの再現



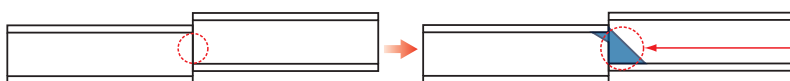
有効径100mm



切削した後の補修後



カメラ付き切削機

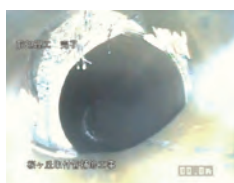


水色部分を切削することにより、
有効口径が大きく確保できる。

現場での
実施工



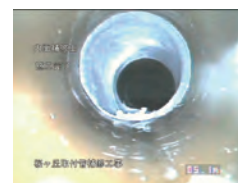
切削中



切削後



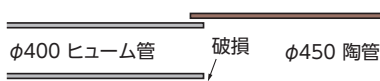
補修中



補修後

2 部分補修（熱硬化）… 異径管の補修

状況 $\phi 450$ 陶管に
 $\phi 400$ ヒューム管を差し込んだ部分が破損。

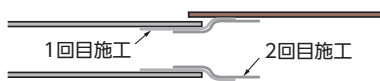


施工前

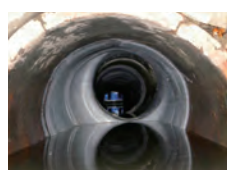


施工中

補修方法 熱硬化 $\phi 400$ ロング施工機を使用し、
補修材は幅60cm $\phi 450$ 用を使用。
自立管強度が必要であったため、
標準Ⅲ仕様（BM9セット+ガラスマット1P）
t=12.2mm 2回張り施工。



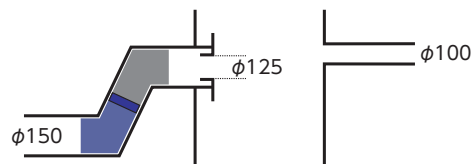
1回目施工後



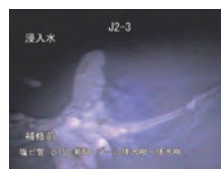
2回目施工後

3 部分補修（熱硬化）… プール配水管の止水

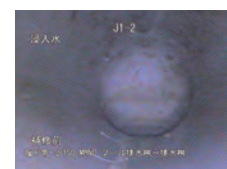
状況 ますから先の $\phi 150$ の曲管部よりの漏水。
ます内の下流管口は $\phi 125$ 。



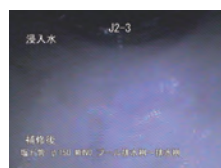
対策 $\phi 150$ 用のちび弾丸にて曲管部の補修を行う。
補修材料は、曲管部にフィットするように
伸縮ガラスクロス・伸縮不織布を使用。



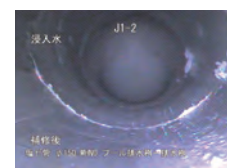
施工前



施工前



施工後



施工後

注意! プール等の配管の施工については、
環境ホルモンの関係をよく調べてから行うこと。